

銀天エコプラザ支援隊募集します。

宇部市まちなか環境学習館”銀天エコプラザ”は、平成23年8月から、NPO法人うべ環境コミュニティが、指定管理者として、運営に当たらせていただいています。

この契約は、今年度末をもって終了し、その後どうなるかは不透明な状況です。

最近どのボランティア団体においても、主体になって活動する方々の、高齢化が進み、その割には新しい世代の方々の参加が少なく困っているとの声がよく聞かれます。

当法人の場合もこのままでは、たとえ市が新たな契約の公募をされても、手を挙げにくい状況にあります。

この業務は、学習室の提供のほか、宇部市環境学習ポータルサイト”うべっくる”の運営や、環境サロン、まちなかおそうじ隊、まちなかエコ市場などを通して、さまざまな活動を展開できる環境啓発の拠点であり、やり方次第で色々な可能性が開けるたいへん貴重な場です。

宇部市においても環境学習体制について強化を図られることが期待されますし、小中学校でもコミュニティスクールの体制が整備され、いよいよ具体的な取組が校区の自治会等との間で始められつつあります。

当法人としても、このような動きに呼応して、現在、環境省の、平成27年度「地域活性化に向けた協働取組の加速化事業」に「地域における持続可能な環境教育のための体制づくり」を申請中であり、審査結果の如何に関わらず、環境サロンを役立てたいと考えています。

これまでの経験を活かして、さらにこの事業を実のあるものにしていきたい気持ちは山々ですが、そのためには市民のみなさまのご理解とご支援が不可欠です。

市内の環境学習拠点、環境関連団体、宇部志立市民大学環境学部同窓会との連携も一層強化して行きますが、とくにわれわれとともにこのような活動を盛り立てていただける方々のご協力が是非とも必要です。

”銀天エコプラザ支援員”として力を貸していただけませんか。

こども達の未来ために何とぞよろしく願いいたします。

(浮田)



第16回まちなかエコ市場

6/20(土)10:00~15:00

ステージでのイベント、軽トラ市、出店、出展、などなど盛り上がること間違いなし！ぜひお越しください！
ちょっと行ってみよう～(^ ^)



まちなか銀天おそうじ隊募集！

毎月最終日曜日にまちなか環境学習館周辺や銀天街アーケードなどをおしゃべりなどしながら楽しく掃除しています。

次回は6/28(日)15:00~
終わったら参加者みなさんでお茶会をします。
一緒に掃除してみませんか？

宇部市環境学習ポータルサイト

「うべっくる」



うべっくる

検索

<http://www.ubekuru.com>
[kuru.com](http://www.kuru.com)

宇部市のいろいろな環境学習拠点の紹介、環境関連のイベントのお知らせなど、随時更新しています。

「銀天エコプラザ」の詳しい紹介もあります。

facebookやTwitterへもこちらからアクセスできます。

まちなか環境学習館や環境に関することについて、ご意見・ご質問等、お気軽にお寄せください。ポータルサイト内の問い合わせ欄やブログ、フェイスブックのコメント欄もご利用ください。

市民共同発電 1

地球温暖化の問題は、我々が作りだした地球環境に関する最大の問題であります。我々はエネルギーの大部分を化石燃料に頼っています。しかしそれは①地球温暖化ガス発生及び②資源の持続性という面で大きな問題を抱えています。また資源の大部分を海外に求めており③経済的にも大きな負担となっています。もしエネルギー源を持続可能な自然エネルギーにて賄うことができればこれらの問題は一気に解決することとなります。

太陽光エネルギーの2%を利用すれば人類が必要とするエネルギーを賄うことができると言われています。現在の技術でもすでに実績として発電効率12%を利用できる技術が確立しています。不安定電源という課題はあるものの十分に人類が必要なエネルギー量を持っています。不安定電源という課題も大容量蓄電池の開発や水電解により水素に変換し貯蔵すれば解決は可能と考えられます。

また各世帯の屋上に太陽光発電パネルを設置して、エネルギーの自己生産、自己消費を実現することができれば宇部市から多くのエネルギー費の流出を防ぐことができ、地域循環させれば地域経済の活性化に大きく貢献できます。そうすれば地球環境問題の解決、資源の持続性に加え、地域経済の活性化に大きく貢献することができます。

ヨーロッパにおいては多くの自治体が政策としてエネルギー自立目標を掲げ活動し、エネルギーの自立を実現した自治体もあります。

私たちの【市民共同発電】は宇部市においても太陽光利用によるエネルギーの自立目標を掲げ、活動し、地球環境問題に加え地域経済活性化へも貢献できる方法（システム）を開発、実践し、これらの問題を解決することを目指しています。続く

(津島)

環境歳時記（6月5日）：世界環境デー制定（1972年）

第二次世界大戦後の経済活動の活発化により国際的に公害や資源枯渇などの問題が顕在化しつつある中、1960年代後半に激化した北欧の酸性雨被害防止対策など、地球環境問題への対応について協議するようにスウェーデンが国連に働きかけ、国際会議をストックホルムで開くように提唱した。

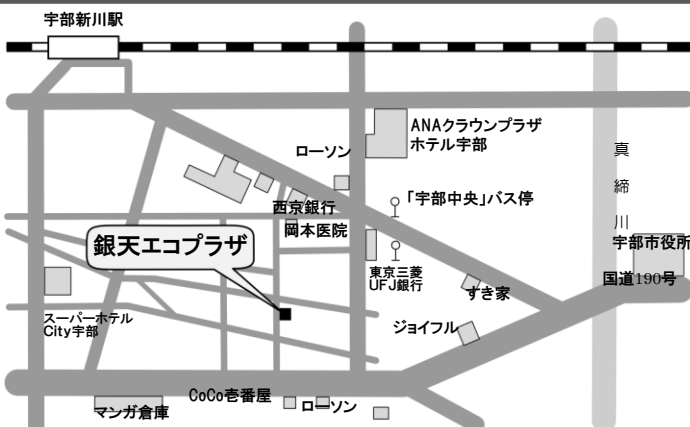
当時アメリカではベトナム戦争に対する国内の反戦運動そして、レイチェル・カーソン女史が名著『沈黙の春』を書いて、農薬の被害について警鐘を鳴らすなどして環境などに目を向け始めた国内世論を受けてこれを積極的に後押しする形で国連が応じ1972年6月5日から16日にかけてストックホルムで会議が開催された。この会議ではOnly One Earth（かけがえのない地球）が標語となり、「人間環境宣言」と「環境国際行動計画」が採択された。この会議には当時活動が活発化しつつあったNGOが会議の中でクローズアップされ、日本からも宇井純氏が水俣病患者やカネミ油症患者とともに日本の公害被害の現状を告発し、その生身をもって訴える姿は世界へ初めて水俣病の深刻さを示し、世界へ衝撃を与えた。この会議の席上、日本の提案で毎年6月5日を「世界環境デー」と定めた。世界各国では、この日に環境保全の重要性を認識し、行動の契機とするために各種の行事を行っています。

日本では環境基本法（平成5年11月19日法律第91号）により「事業者及び国民の間に広く環境の保全についての関心と理解を深めるとともに、積極的に環境の保全に関する活動を行う意欲を高める」という目的のもと6月5日を環境の日と定めている。

2015年の日本も6月5日の「環境の日」を中心に6月を環境月間とし、月間の実施要項を示している。そのポイントは○行動することを重視する。○環境政策・取組への理解と参加を進める。○科学的な知見を身近なレベルで理解してもらう。○課題間のつながりを大切に。が挙げられている。

また山口県としても今年の行動計画が示されている。実施行事として省エネ、節電等に向けたCO2削減県民キャンペーンの推進・省エネ・節電等に向けたCO2削減県民運動キャンペーンの推進
ア、緑のカーテン（5～9月） 家庭、事業所、公共施設における緑のカーテン設置促進
イ、ノーマイカー運動（6月、12月） 事業所・団体等においてノーマイカーデーを実施
ウ、ライトダウン（6月22日～7月7日、12月） 事業所や家庭等において可能な範囲で照明を消灯しCO2を削減
エ、エコスタイル・エコドライブキャンペーン フールビズ、エコドライブの呼びかけ
もうすぐ6月5日です。是非身の回りから環境をもう一度考えてみたいものです。

(西村)



宇部市まちなか環境学習館 銀天エコプラザ

〒755-0045 山口県宇部市中央町二丁目11番21号

交通手段 JR宇部線：「宇部新川駅」徒歩7分

宇部市営バス：「宇部中央バス停」徒歩3分

駐車場 無し（近隣の有料駐車場等をご利用ください）

TEL/FAX 0836-39-8110

E-mail info@ubekuru.com

開館時間 9時～21時

休館日 毎週火曜日、年末年始（12月29日～1月3日）